

# 年間販売額 58.9% の伸び

昭和49年商業統計調査結果から

＝ 商 工 統 計 係 ＝

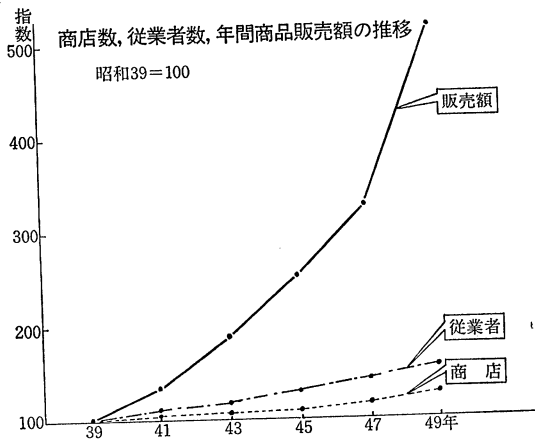
商店数	44,947	(前回対比104.2)
卸売業	4,238	
小売業	32,591	
飲食店	8,118	
従業者数(人)	165,706	(前回対比107.7)
卸売業	33,741	
小売業	105,644	
飲食店	23,321	
年間販売額(万円)	154,290,691	(前回対比158.9)
卸売業	78,403,883	
小売業	70,311,427	
飲食店	5,575,381	

また、過去10年間の推移をみると、年々増加し、10年間で商店数が22.1%、従業者数は52.2%増加した。年間販売額は実に5.27倍となった。

年間販売額は、昭和48年5月1日から49年4月30日までの1年間の販売額であるが、この間物価騰貴を抑えるための総需要抑制策がとられたにもかかわらず、需要は衰えず、昭和48年末には石油危機という要因も加わって卸売物価、消費者物価とも異様な程に上昇した。この物価の上昇が年間販売額の増加に大きく影響している。

表1 商店数 従業者数 年間販売額の推移

年次	商店数		従業者数		年間販売額	
	数	指数 39=100	(人)	指数 39=100	(億円)	指数 39=100
昭和39年	36,814	100.0	108,846	100.0	2,926	100.0
41	40,504	110.0	124,476	114.3	3,969	135.6
43	40,741	110.7	128,360	117.9	5,485	187.5
45	41,722	113.3	139,837	128.5	7,478	255.5
47	43,133	117.2	153,885	141.4	9,709	331.8
49	44,947	122.1	165,706	152.2	15,429	527.3



## 概況

昭和49年商業統計調査からみた本県商業の概況は、商店数44,947店、従業者数165,706人、年間販売額は1兆5,429億円であった。

これらは前回(昭和47年調査)に比べ、商店数で4.2%、従業者数で7.7%、年間販売額で58.9%の伸びとなった。

## 1 商店数

商店の総数は44,947店で、前回の調査に比べ4.2%(1,814店)の増加となった。

業種別に商店構成をみると、卸売業が9.4%、小売業が72.5%、飲食店が18.1%となっている。

次に、商店数は、卸売業が9.9%、小売業が0.7%それぞれ増となっている。また小売店は、飲食店が17.3%増で、増加率が最も高く、ここ数年外食の利用が高まりつつあることがうかがえる。

従業者規模別に商店数をみると、1~2人規模が59.4%を占め、次いで3~4人、5~9人の規模がそれぞれ24.3%、11.3%で、9人以下の規模で95.0%を占め、10人以上の商店は5.0%に過ぎない。

表2 業種別商店数

業種	47年		49年	
	商店数	商店数	前回比	構成比
総計	43,133	44,947	104.2	100.0
卸売業計	3,855	4,238	109.9	9.4
40一般卸売業	3,736	4,148	111.0	9.2
41				
42仲立商代理業	116	90	77.6	0.2
小売業計	32,357	32,591	100.7	72.5
43各種商品小売業	60	64	106.7	0.1
44織物、衣服身のまわり品小売業	3,545	3,700	104.4	8.2
45飲食料品小売業	16,597	16,301	89.2	36.3
47自動車、自転車小売業	1,573	1,585	100.8	3.5
48家具、建具、じゅう器小売業	3,393	3,441	101.4	7.7
49その他の小売業	7,190	7,500	104.3	16.7
46飲食店	6,921	8,118	117.3	18.1

## 2 従業者数

従業者数の総数は165,706人で、前回の調査に比べ7.7% (11,821人) 増加した。

従業者数の業種別構成をみると、卸売業が20.4%、小売業が63.7%、飲食店が15.9%とそれぞれなっており、小売業が過半数を占めている。なかでも飲食料品小売業の従業者数は、全従業者数の24.4%に当たっている。

業種別に従業者数の増加率を前回調査に比べると、卸

売業が15.0%、小売業が4.9%、飲食店が10.4%で、卸売業の従業者増加率が高い。

## 3 年間販売額

昭和48年5月1日から昭和49年4月30日までの1年間における販売額は、1兆5429億円で、前回調査に比べ58.9%増加した。

業種別に年間販売額の構成をみると、卸売業が7,840億円で全体の50.8%を占め、今回の調査で初めて50%を超えるにいった。

業種別に前回調査と比較すると卸売業が72.3%、小売業が46.4%、飲食店が56.5%増加した。

1店当たりの年間販売額をみると3,433万円で、前回の調査に比べ52.5%増加している。これを業種別にみると卸売業が1億8500万円、小売業が2157万円、飲食店が687万円で、それぞれ56.7%、45.3%、33.4%それぞれ前回より増加している。なかでも小売業のうち各種商品小売業が9億1044万円で88.3%増加した。

次に従業者1人当たりの年間販売額をみると、931万円で前回調査に比べ47.5%増加した。

業種別には卸売業が2,344万円で47.5%増、小売業が665万円で40.2%、飲食店が209万円で40.2%の増加となった。この大幅な販売効率の上昇には、卸売物価並びに消費者物価の上昇に負うところが大きい。

表3 業種別年間商品販売額

業種	47年 年間販売額 (万円)	49年				1店当たり年間 販売額(万円)	従業者1人当たり 年間販売額(万円)
		年間販売額(万円)	前回比	構成比			
総計	97,093,551	154,290,691	158.9	100.0	3,433	931	
卸売業計	45,498,749	78,403,883	172.3	50.8	18,500	2,344	
40一般卸売業	45,498,749	78,403,883	172.3	50.8	18,500	2,344	
41							
42代理商仲立業	—	—	—	—	—	—	
小売業計	48,031,862	70,311,427	146.4	45.6	2,157	665	
43各種商品小売業	2,901,717	5,826,818	200.8	3.8	91,044	1,272	
42織物、衣服身のまわり品小売業	6,741,254	9,831,328	145.8	6.4	2,657	733	
45飲食料品小売業	15,154,515	21,681,677	143.1	14.1	1,330	536	
47自動車、自転車小売業	5,306,213	7,386,671	139.2	4.8	4,660	989	
48家具、建具、じゅう器小売業	5,717,606	8,082,275	141.4	5.2	2,349	719	
49その他の小売業	12,210,557	17,502,658	143.3	11.3	2,334	614	
46飲食店	3,562,940	5,575,381	156.5	3.6	687	209	